

新たな創生期に向けて—  
第5回TRIZシンポジウム閉会にあたって  
(TRIZ Symposium 2009 in Japan)

—TRIZシンポジウム参加のお礼と  
日本TRIZ協会活動への参加へのお願い—

2009年9月12日

NPO法人日本TRIZ協会  
シンポジウム実行委員長  
三原 祐治

## 第5回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

皆さん、第5回TRIZシンポジウムでの3日間お疲れ様でした。おかげさまでシンポジウムも日程を終えましたが 充実した内容の3日間だったのではないかと思います。

いくつか不備な点がありましたが、全体として、今回の企画は成功したといっても良いのではないかと、主催の一翼を担ったものとして、自讃しております。

最大の要因は、発表内容の質の向上と熱心な討論に依るものと思っております。

これも皆さんのご協力があったのものであります。

厚くお礼を申し上げます。

## これまでのシンポジウムの参加者数

- ・第1回参加者数 104名（日本100名＋海外4名）
- ・第2回参加者数 157名（日本139名＋海外18名）
- ・第3回参加者数 202名（日本191名＋海外11名）
- ・第4回参加者数 179名（日本164名＋海外15名）
- ・第5回参加者数 137名（日本118名＋海外19名）

毎回、100名を超える方々が一堂に会し、熱心な議論がおこなわれました。

→「発表内容」も、それに対する「議論」も、それらを支える「参加者の数」もTRIZが日本に着実に定着してきています。

## 今回のシンポジウムがこれまでと違うこと

昨年のリーマンショック以来の最悪の経済状況下で  
発表数・参加者数とも大幅な減少が懸念されましたが、

### 1) 発表件数はほぼ昨年並みの42件

参加者数も137名と、TRIZの国際会議の中でTopクラスを維持。

参加者はベテランの方が比較的多く、かつ3日間通しての参加という方が多かった。

その中で若い技術者、学生のしっかりした発表もあり、将来に希望を持たせてくれました。

### 2) NPO法人日本TRIZ協会という公式の組織による2回目の開催。

←これまでは日本TRIZ協議会という有志のボランティア。

国立女性会館を借りたのも法人化の効果。

### 3) 自由討論時間を設定

テーマを設定して自由に討論していただける「場」を設定。  
夜遅くまで、また今日の朝にも熱心な議論が行われました。

## これまでのよいところの拡大・継続

- 1) 日英/英日スライド同時投影のための翻訳および質疑応答での通訳を会員からボランティアを募り実施。  
→会員のシンポジウムへの積極的な参画。
- 2) 発表者の範囲の拡大。  
従来の大企業での適用例だけでなく中小企業での適用例が一昨年あたりから見られ、TRIZの裾野の広がりを感ぜさせてきている。
- 3) Boris Zlotin、Darrell Mannの基調講演に加え、Gaetano Casciniら海外からの発表も8カ国(マレーシア、韓国、台湾、中国、米、英、イタリア、ドイツ、)14件(基調講演含む)と、国際性も認識されてきました。
- 4) 前回の参加者の要望及び経験を反映し、今回も2つのプレセッション(入門者用チュートリアルと経験者によるDiscussion)を用意。
- 5) 発表に対する投票  
興味をもっていただいた発表に対し参加者の皆さんに投票して頂き後日HP上で公表します。

## NPO法人日本TRIZ協会としての活動内容

### 1. TRIZシンポジウムの企画開催

- 国内中心で海外からの参加もよびかける。1回／年開催。  
「日本TRIZ協会」会員の参加費優待を行う。

### 2. 研究会活動

- TRIZの適用方法、事例研究など、TRIZを様々な分野/場面で活用するための研究とガイダンスの構築を目指し、TRIZの普及・発展に供する。  
「日本TRIZ協会」会員は参加できる。

### 3. セミナーの企画開催

- 関係協力機関との共催または後援／協賛によるセミナー開催を行う。  
この場合「日本TRIZ協会」会員優待を行うようにする。

### 4. 教育／出版用コンテンツの開発

- 教育・普及のためのコンテンツを開発し、書籍出版、eラーニング、講習会などで活用する。
- 既存文献(特に、英語の)、上記研究会の成果、関係協力機関のコンテンツ、などの活用を図る。

# TRIZ協会に入会を！

TRIZ協会は立ち上がって、まだようやく2年目です。

皆様のご意見とご協力により、力を合わせて育てていきたいと思  
います。

TRIZに関心のある皆様に参加していただき、日本におけるTRIZの  
定着・発展に是非関与してください。

# 研究会

研究会活動としては

現在 「知財創造研究分科会」

「ビジネス・経営TRIZ研究分科会」

の2つの研究会が活動中です(ポスターセッションで報告)。

→ これらの研究会に是非ご参加下さい。

また、ソフトウェア研究会の「芽」も今回のシンポジウムで生まれかかっています。是非大きく育てていただきたいと思います。

その他、新しい研究会の立ち上げのご意見・ご提案をお寄せ下さい。

## 第5回シンポジウム準備・実行メンバー

林 利弘 (林 技術士事務所)、	黒澤 慎輔 (産業能率大学)、
三原 祐治 (創造性工学研究所)、	前古 護 (アイデア)、
堀田 政利 (創造開発イニシアチブ)、	長谷川 公彦 (佐野国際特許事務所)
中川 徹 (大阪学院大学)、	正木 敏明 (日東電工)、
小西 慶久 (元 三菱総研)、	大田 哲也 (産業能率大学)
池田 和康 (積水エンジニアリング)、	奥住(横山) (東芝)
庄内 亨 (日立製作所)、	仲畑 光蔵 (日立製作所)、
福嶋 洋次郎 (松下電器産業)	片岡 敏光 (パットブレーン)、
清水 玲子 (日本TRIZ協会)、	菊池 史子 (パイオニア)
後藤 一雄 (リコー)	海野 誠 (川崎重工)、
	井上 淳 (東芝)

上記の他に、産能大、アイデア社の方々には、プロジェクト操作やマイク係など裏方としてご協力をいただきました。

皆さんご苦労様でした

## 第5回シンポジウム通訳・スライド翻訳協力者

**通訳**： 小西慶久 (TRIZ協会)、 黒澤慎輔 (産能大)、  
石濱正男 (神奈川工大)、  
上村輝之 (ウィルフォート国際特許事務所)、

**和訳**： 小西慶久 (TRIZ協会)、 黒澤慎輔 (産能大)、  
大田哲也 (産業能率大学) 海野誠 (川崎重工)、  
仲畑光造 (日立製作所)、 菊池史子 (パイオニア)  
正木敏明 (日東電工)、 中川徹 (大阪学院大学)、  
岡建樹 (コニカミルタテクノロジーズ) 井上淳 (東芝)  
石田厚子 (日立コンサルティング)、 高原 利生、 市川且典

**英訳**： 中川徹 (大阪学院大学)、 小西慶久 (TRIZ協会)、  
庄内亨 (日立中研)、 有田節男 (日立)、  
津波古和司 (日立GST)

皆さんご苦労様でした

【敬称略、順不同】

第6回(2010年)日本TRIZシンポジウム は  
日程: **2009年9月9日(木)~11日(土)**  
を第一候補で行う予定です

場所: 未定

今から、日程調整をお考えください。

TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして

次回のシンポジウムには是非発表を  
お願いします

→ 今から発表に向けて準備をお願いします。

と同時に、

今年同様活発な意見交換をお願いします

今回のアンケート用紙を  
ご参加いただいた皆さんにメールでお送り  
します。

来年のシンポジウムを更によくするために、  
アンケートの記入にご協力をお願いします。

第5回TRIZシンポジウムへの  
ご参加  
ありがとうございました

## 事務局からのお願い

これから会場の撤収を行います。

もう疲れて早くお帰りになりたいですが、

お時間の許す範囲でお手伝いをお願いいたします。

特に、ポスターセッション会場(101 & 110室)の片付けが  
主な作業です。

- ・ポスターの片付け
- ・パネルの片付け
- ・机、椅子の配置の復帰

ご協力の程よろしくお願いいたします。